

日仏ワークショップ登壇者・聴講参加者の募集

日本交通心理学会長 太田博雄

昨年の IFSTTAR でのワークショップに続き、今年度は、交通安全・道路交通の研究に従事するフランスの研究者を東京にお招きし、相互交流と学術研究の発展を図るべく、来る 10 月 23、24 日の 2 日間、日仏ワークショップを開催します（国際交通安全学会との共催）。フランスからは IFSTTAR に所属する研究者を中心に 10 名が来日します。本ワークショップでは、通常の研究発表だけに限定せず、共通のテーマに関心を持つ参加者どうしが活発に交流できるような機会を設けたいと思います。

つきましては、本ワークショップで登壇して研究発表を希望される学会員、ならびにワークショップの聴講を希望される学会員をそれぞれ募集します。登壇者には、質疑応答を含めて 15～20 分程度の発表を行っていただきます。また、8 月中旬頃までに A4 で 1 枚の抄録も提出いただきます（言語はいずれも英語）。聴講される方であっても、登壇者の発表を聴講するだけでなく、日仏の参加者と情報交換できる時間を最大限確保したいと思えます。皆様、奮ってご参加ください。

記

1 登壇して研究発表を希望される方へ

ご氏名、ご所属、発表タイトルとともに、200～300 字程度の要旨（日本語で構いません）を、8 月 6 日までに国際交流委員会（jatp-int@list.waseda.jp）にお送りください。

※お手数ですがメールのタイトルに、「日仏 WS 発表希望」とご明記ください。

なお、本ワークショップでは、国際交通安全学会員による発表も予定しております。応募者多数の場合、ご希望に沿えない可能性もあります。その場合は、何卒ご了承ください。

登壇者としての発表が認められた場合、上述のとおり、改めて英語の抄録を提出いただきます。

2 聴講のみを希望される方へ

ご氏名とご所属を国際交流委員会（jatp-int@list.waseda.jp）までお送りください。応募者数が定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。

※お手数ですがメールのタイトルに、「日仏 WS 聴講希望」とご明記ください。

3 ワークショップについて

○ 開催日

10 月 23 日(火)及び 24 日(水)

○ 開催場所

ステーションコンファレンス東京（東京都千代田区丸の内 1-7-12 5 階）

JR 東京駅日本橋口直結・東京メトロ東西線大手町駅 B7 出口直結

<https://www.tstc.jp/tokyo/access.html>

○ 参加者数

予約をしている会議室の規模などから、日仏の登壇者、聴講者、事務局員を合わせて、最大 60~70 人を見込んでいます。

○ プログラム構成（予定）

1 日目：午前：開会 ⇒ テーマ別セッション① ⇒ 昼食 ⇒

午後：テーマ別セッション②&③ ⇒ 夜：レセプション（立食形式）

2 日目：午前：テーマ別セッション④ ⇒ 昼食 ⇒ 午後：テーマ別セッション⑤

⇒ 閉会

※ 両日とも、セッションの間に、参加者どうして自由に意見交換ができるネットワーキングの時間を設ける予定です。

※ 両日とも、朝の開始時間は 10:00 を予定しています。2 日目の終了時間は、午後 2 時~3 時頃を予定していますが、前後する可能性もあります。

ワークショップで取り上げる話題については、6 月 1 日付で学会ホームページに掲載したワークショップの案内も参考になさってください。

4 参加費

登壇者、聴講者ともに、ワークショップへの参加費は無料です（1 日目夜のレセプションも無料）。旅費・宿泊費等は、各自で負担くださいますようお願いいたします。

5 今後のスケジュール

8 月下旬までに日仏双方の登壇者から抄録を送っていただき、9 月半ばを目途にプログラムを決定する予定です。プログラムは学会ホームページ上での事前展開を考えております。

6 問い合わせ先

本件について、ご質問などありましたら、国際交流委員会（jatp-int@list.waseda.jp）までお問い合わせください。

以上